

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

小説投稿とは関係ない個人的な報告ですが、このたび男の子を妊娠し、この秋に出産を迎えることになりました。

予定日は今のところ 11 月です。

ただしそれより早く入院する可能性もあるかもしれません。

仮にそうなった場合、ブログの更新が急に途絶えると思いますが、投稿がイヤになって放置……とかではないので、再開できるまで気長に見守っていただければ幸いです。

さてさて。

9 月分のブログをパブーにアップしました。

内容はブログ本体と一緒にですが、一応リンクを紹介しておきます。

PDF もありますので、まとめ読み等にどうぞ。

【らくだ図書館 (69)】

<http://p.booklog.jp/book/117550>

あと次はどこに応募するのか質問を受けましたが、状況が状況なので、しばらく投稿はできないかな……という感じです。

とはいえ嫌いになってやめるわけではないので！

ブログも続けるつもりですし、この先も、引き続きよろしくお願いします。

唯一の懸念は、出産後に創作活動する余裕があるのかという問題ですが、そこはまあその時になってみないとわかりませんね（汗）

というわけで今回は個人的な報告でした。

明日からはまた普通の投稿ネタをお届けしたいと思います。

こんにちは、らくだです。

先月チラッと予告した通り、アルファポリスで開催されているエッセイ・ブログ大賞の、投票期間が始まりました。

以下リンク。

らくだ図書館もエントリー中なので、応援していただけると嬉しいです。

[【らくだ図書館に投票する】](#)

[【コンテスト全体のランキング】](#)

(開催期間 10月1日～10月31日)

投票にはアカウントの作成が必要ですが、1万円が10名様に当たる投票者プレゼントもありますので、この機会に是非よろしくお願いします。

(ダイマ)

ところで話は変わりますが……。

前回の記事を書いた後、らくださんって女性だったんですかと言われましたが、そうです性別は女です。

男だったらザビエル萌えなんてしませんから！

いやまあ女でも普通はしないと思いますけど！

とにかく多数の祝福コメント、どうもありがとうございます。

投稿と全然関係ない話題なのに、皆様の優しさが胸にしみました。

執筆から離れる状況は心苦しいですが、皆様の応援を励みにがんばりますので、これからも温かく見守ってください！

第 24 回電撃大賞の結果 - 2017.10.03 Tue

こんにちは、らくだです。

まだ 10 月になったばかりですが、電撃大賞の結果が発表されました。

受賞者の皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

http://dengekitaisho.jp/announce_24_02.html

- ・ 応募総数 5,088 本
- ・ 1 次通過 575 本 (約 11.3 %)
- ・ 2 次通過 216 本 (約 4.2 %)
- ・ 3 次通過 79 本 (約 1.6 %)
- ・ 4 次通過 9 本 (約 0.2 %)
- ・ 受賞 7 本 (約 0.1 %)

受賞率は 0.1 % (四捨五入) という、レアガチャのような数字でした。

その激戦をくぐり抜けた皆様は、本当に偉大だと心から思います。

受賞者さんの年齢については、2 名が 20 代で、5 名が 30 代という意外な結果。

自分も 30 代なので、平均年齢が少し上がっていて、励まされました。

それから次回の募集ですが、第 25 回を記念して、読者賞が設置されるとか。

【読者賞について】

http://dengekitaisho.jp/#readers_choice_25

詳細は今のところ不明ですが、候補になった作品は WEB 公開されるらしいので、刊行よりも一足先に読むことができそうですね。

詳しい情報が発表されたら、また紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

前回の記事で話題にした通り、電撃の最終発表がありました。

受賞者の皆様は出版へ向けて忙しいと思いますが、落ちてしまった皆様は、評価シートがいつ届くのか気になることでしょう。

そんなわけで過去の情報をまとめました。

自分が電撃へ投稿を始めた 2009 年からのデータです。

【電撃の選評到着日（常木らくだ調べ）】

- ・ 第 16 回（2009 年）・・・11 月 18 日（水）
- ・ 第 17 回（2010 年）・・・11 月 1 日（月）
- ・ 第 18 回（2011 年）・・・11 月 4 日（金）
- ・ 第 19 回（2012 年）・・・11 月 5 日（月）
- ・ 第 20 回（2013 年）・・・11 月 11 日（月）
- ・ 第 21 回（2014 年）・・・11 月 10 日（月）
- ・ 第 22 回（2015 年）・・・11 月 13 日（金）
- ・ 第 23 回（2016 年）・・・11 月 12 日（土）

電撃は何しろ数が多いですし、人によって多少の誤差はあるかもしれませんが、だいたいこのような感じ
です。

自分自身は途中から送らなくなったので、ここ数年分はフォロワーさんの情報ですが、もっとも多いのは
11 月上旬から中旬ですね。

なお 18 日だった 2009 年は、「遅れてすみません」と書いてあったので、基本的には 10 日前後が目安なの
かなと思います。

以上、電撃の評価シートに関する情報でした。

1 次通過以上で選評を貰える皆様は参考にどうぞ。

第2回大人が読みたいエンタメ小説コンテスト- 2017.10.05 Thu

こんにちは、らくだです。

9月上旬に最終発表があった、ノベルゼロ「大人が読みたいエンタメ小説コンテスト」ですが、早くも第2回の開催が決定。

カクヨムに応募要項が掲載されました。

【応募要項】

https://kakuyomu.jp/contests/novel0_contest_002

<募集部門>

『集え、最強のおっさん!』 戦う成人男性部門
『ヒロインに制限なし!』 大人のラブコメ部門
(前回と同じく「異世界転生作品」は応募不可能)

<受付期間>

2017年10月27日(金) 00:00 ~ 2017年12月25日(月) 23:59

<規定字数>

締切時点で本文 80,000 字以上

なお今回は募集部門が2つですが、どちらの条件も満たしている作品は、両方に同時エントリーできる模様。

ただし2部門の同時受賞はないようです。

詳しくは応募要項の「作品形式等」の項目をご覧ください。

すでにカクヨムに掲載済みの作品も、規定を満たしていればエントリーできるので、カクヨム作者の皆様はチャレンジしてみてもはいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

毎週金曜はウェブコバルトの更新日。

というわけで第 64 回イラスト大賞の発表がありました。

小説ではなくイラストの賞ですが、いつか自分がコバルトで受賞した時、お世話になる可能性もなくはないよね！

そんなわけでリンクを紹介。

作品が掲載された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/illust_prize_64/

今回の講評は「デジタルとアナログ」に関する内容。

それによると最近ではデジタル作品が大半ですが、ここ数回はアナログ作品の応募も増えており、独特の魅力が感じられる……という話題でした。

なお結論は、

「自分はどちらかしか描けない、と決めつけるのではなく、描きたいものに応じて表現方法を柔軟に使い分けてみるのもいいかもしれません」

絵と違って小説の場合はデジタルが主流だと思いますが、自分はこれだけと決めつけずに、色々な手法にチャレンジしてみるのはいいことですよね。

あと冒頭にも書いた通り、「自分の小説にこんな絵がついたらいいな～」と思うと楽しいので、ワナビクラスタの皆様もご興味があれば発表をチェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

今さらすぎる話題で恐縮ですが、第7回集英社ライトノベル新人賞（前期分）の結果が、公式サイトに掲載されました。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx7thAwardEarly/result.html>

- ・ 応募総数 461 本
- ・ 1次通過 66 本（約 14 %）
- ・ 2次通過 17 本（約 4 %）
- ・ 3次通過 6 本（約 1 %）
- ・ 入選 2 本（約 0.4 %）

入選作品のクロスレビューを読みましたが、『スターダスト・ワールド』の方は、編集者に女性向けという指摘を受けています。

（ヒロイン目線の恋愛描写があるっぽい）

しかしそれでも入選したのは逆に凄いなーと。

カテエラなんて吹き飛ばすほど、完成度が高かったのでしょうか。

もう片方の『モンスターズマンションへようこそ！』の方は、タワーディフェンスゲームをラノベ化した作品みたいです。

言葉で言ってしまうと簡単ですが、ゲームをラノベ化するのは結構難しいと思うので、どんな切り口なのか気になりますね。

というわけで今回は集英社ラノベ入選作品の話題でした。

2 作品とも面白そうなので刊行を楽しみに待ちたいと思います。

長すぎる助走 - 2017.10.08 Sun

こんにちは、らくだです。

前回に続き今さらの話題ですが、第 10 回 GA 文庫大賞（前期分）の結果が、公式サイトに掲載されました。

遅すぎてすみません……。

実際は 9 月 29 日に結果が出てたんですよ……。

何はともあれ以下リンク。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://ga.sbcr.jp/novel/taisyo/10/index.html>

- ・ 応募総数 546 本
- ・ 1 次通過 148 本（約 27 %）
- ・ 2 次通過 27 本（約 5 %）
- ・ 3 次通過 6 本（約 1 %）
- ・ 奨励賞 2 本（約 0.4 %）

あくまで個人的な感想ですが、総評の「受賞者の皆さまはここがスタートラインです」という言葉が、胸に刺さって仕方ありません。

そうだよね……。

受賞してからが本番なんだよね……。

すなわち言ってみれば、投稿生活はスタート前の助走なわけで、かれこれ 10 年も助走してる自分は何者なんだって話ですよ（困惑）

まあそんな自分は嫌いじゃないので、投稿生活いいことも悪いこともたくさんありますが、全部を楽しんでいきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

しつこく 9 月末の話題ですが、第 14 回 MF 文庫 J 新人賞（6 月締切）の、1 次結果が発表されました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://www.mediafactory.co.jp/bunkoj/award/result/#first>

- ・ 応募総数 527 本
- ・ 1 次通過 154 本
- ・ 通過率 約 29 %
- ・ 最少年齢 16 歳
- ・ 最高年齢 50 歳
- ・ 平均年齢 28 歳（小数点四捨五入）

余談ですが自分の場合、この賞で通過すると年齢が出てしまうので、MFJ だけは違うペンネームで送っていました。

まあね……。

どのみち落ちるから無駄な心配なんですけど……。

今はもう MF には送っていませんが、毎回 50 代の通過者さんがいるのを見ると、夢を追うのに年齢は関係ないんだと再確認できますよね。

逆に 10 代の通過者さんもすごいですし、その情熱を見習って、自分も負けずに頑張りたいと思います。

こんにちは、らくだです。

10月も中旬だというのに、暑い日が続いています。
極端に寒すぎるのも困りますが、早く涼しくなって欲しいですね。

さてさて。
先週の金曜日に第190回コバルト短編の結果が発表されました。

以下リンク。
作品が掲載された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】
<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no190/>

さっそく選評を読んできましたが、今回は最終経験のある常連さんが2名もいたようで、「以前の作品と比べて格段によくなっている」というコメントがありました。

これは作者にとって嬉しいんじゃないでしょうか。
書き手としての成長って一人では実感できませんからね。

なお自分は電撃の選評で、「去年も通過しており実力はある」と言われた経験があって、その時は本気で飛び上がるほど嬉しかったのを覚えています。

まあその数年後に「おままごとレベル」と言われましたが。
成長を実感するどころではなく、ステップダウンが半端ないです。

という残念なおチはさておき、コバルト短編の選評は毎回勉強になるので、未読の皆様は是非チェックしてみてください。

いたばし（英語部門）定員到達- 2017.10.11 Wed

こんにちは、らくだです。

いたばし国際絵本翻訳大賞に参加予定の皆様。
エントリーの締切は 10 月 31 日なのでお早めに。

と思いつつ公式サイトを見たら、もう締め切ってるじゃないですか！

【第 24 回いたばし国際絵本翻訳大賞】

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/084/084989.html

というわけで。

赤字で告知されている通り、英語部門は定員に達した模様。

いやしかし定員 1,000 名で、しかも参加費が必要なコンテストなのに、ほぼ毎年定員に到達するってどれだけ人気の賞なんや……。

なおイタリア語部門は現在もエントリー可能。
詳しい応募要項などはリンク先に載っています。

それから翻訳の賞でもう一つ。
以前も紹介しましたがアルク翻訳コンテスト 2017 が開催中です。

【アルク翻訳コンテスト 2017】

<https://www.alc.co.jp/translator/article/tobira/contest2017.html>

こちらは参加費などは必要なく、課題もホームページ上で閲覧できるので、翻訳クラスタの皆様はチェックしてみてください。

以上、翻訳の賞 2 つの話題をお届けしました。

お尻の話で申しわけないですが、イボ痔になってしまいました。

いや……。

変だとは思ったんですよ……。

数日間お尻が痛い状態が続き、しかもトイレ後に出血するので、これはちょっと普通じゃないぞと。

そんなわけで、お風呂に入った時に恐る恐る触ったら、おかしいイボがあるじゃないですかヤダー！

その後肛門科へ行ったら痔だと言われました。

カルテに脱肛と書き込まれた時は正直ショックでした。

脱稿は好きだけど脱肛は困るよ！！！（泣）

というのが3週間前の話です。

その後軟膏と注入坐薬を使い続けたら、痛みもひいてイボも小さくなりました。

とはいえ、薬だけでは完治しないほど進行しているらしいので、ひょっとすると出産後に手術することになるかもしれません……（ショボン）

以上、イボ痔なうの報告でした。

投稿と無関係なお尻の話題ですみません。

しかし思えば、小説を書く＝座っている時間が長いということで、そう考えるとイボ痔の話は投稿とまったく無関係でもないですよ。

妊娠中は特になりやすいそうですが、もちろん妊娠中以外でも座りっぱなしで痔になるケースは多いので、皆様も十分に気を付けてください。

こんにちは、らくだです。

コバルトの定期連載「小説を書くためのプチアドバイス」が更新されました。

第9回の今回は「小説を書くキモは【情熱】と【技術・技巧】の配分にある」というテーマ。

詳細はリンク先をご覧ください。

【小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/001687/>

今回は作者のテンションがやけに高く、かなり具体的に色々書いてあるのですが、要は「小説を書く時は情熱と技術のバランスが大事」ということかなと解釈しました。

そういう視点で自分自身を振り返ると、技術は以前より上がっている（よね？）反面、情熱は昔より下がっていると思います。

いや……。

昔は小説を書くのが本当に楽しかったんですけどね……。

もちろん今でもその気持ちは変わりませんが、落選を重ねるうちに良くも悪くも冷静になって、初期の情熱はほぼ失ってしまったような気が。

そういうのって結構読者に伝わるので、近ごろ投稿成績が下がっているのは、それが一因じゃないかと感じました。

情熱は内側から自然と滲み出るものなので、狙って作品に込めるのは難しいですが、どうにか試行錯誤して頑張りたいと思います。

こんにちは、らくだです。

えんため大賞に新しい部門、その名も「Gz ブレインゲーム小説コンテスト部門」が登場し、応募要項が発表されました。

【応募要項】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/gamenovel.html>

【選考委員からのメッセージ】

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/gamenovel_message.html

- ・ 募集内容 「ゲーム」を題材としたオリジナル小説作品
- ・ 参加方法 なるべく作品を投稿し指定のタグを付ける
- ・ 受賞特典 賞金+大賞と金賞は書籍化
- ・ 投稿締切 2018年1月4日(木)
- ・ 字数規定 10万字以上

有名なゲーム小説というと、『ソードアート・オンライン』や『ノーゲーム・ノーライフ』などが浮かびますが、ゲームのジャンルは自由です。

例として挙がっているのは、

「RPG、online、VR、MMO、格闘、アクション、謎解き、シミュレーション、ホラー」などなど。

ちなみに既存ゲームの二次創作は応募不可。

登場させるゲームはオリジナルのものでないといけません。

というわけで多少の制約はありますが、ゲーム小説は近ごろ人気上昇中のジャンルですし、ご興味のある皆様は参加してみてもいいのではないでしょうか。

第9回アイリス恋愛ファンタジー大賞- 2017.10.15 Sun

こんにちは、らくだです。

10月上旬までかなり暑かったのに、急に寒くなって戸惑いを隠せません。

小説投稿もまずは健康あってこそ。

風邪が流行り始める時期ですが、皆様充分にお気をつけください。

さてさて。

第9回一迅社文庫アイリス恋愛ファンタジー大賞の開催が決定しました。

この賞もう第9回なんですね……。

いやはや時が経つのは早いもので……。

何はともあれ応募要項はこちら。

【応募要項】

http://www.ichijinsha.co.jp/special/iris/renaif_award9/

- ・ 募集内容 女性向け恋愛ファンタジー小説
- ・ 応募締切 2018年1月19日(金) 23:59
- ・ 規定字数 自由(完成・未完問わず)
- ・ 参加方法 なるべく作品を掲載し「アイリス恋愛F大賞9」のタグを設定
(※「F」と「9」は全角大文字なので注意!)

なおQ&Aを読むと、第1回～第8回の落選作品も応募可能なので、諦めきれない場合は再チャレンジできる仕様となっています。

あと第10回は1月20日から受付予定だとか。

これだけ休みなく開催を続けるということは、主催側に手応えがあるという意味でしょうし、どんな作品が集まるのか期待したいと思います。

こんにちは、らくだです。

いたばし絵本参加したかったなあ……。

キャンセル分の再募集とかしてないかなあ……。

と思いつつ公式サイトを見に行ったところ、先日の英語部門に続き、イタリア語部門も定員に到達していました。

やだー！

人気ありすぎー！

【第 24 回いたばし国際絵本翻訳大賞】

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/084/084989.html

なお定員数は英語部門が 1,000 名、イタリア語部門が 300 名という数字。

そうはいつでも、英語部門より挑戦者が少ないと思われるイタリア語部門も満員なんて、本当に人気のあるコンテストなんだなーと改めて再認識した次第です。

しかしこれだけ人気があるなら、翻訳の賞がもっと増えてもよさそうなのに、何故か少ないままなんですよ。

自分の知っている限りでは、この賞とアルクくらいですし。

それに比べると、デビューは超・狭き門とはいえ、小説の賞はたくさんあるので恵まれているのかもしれない。

というわけで今回はいたばし絵本の話でした。

せっくなので追加募集がないか今後もチェックしたいと思います。

こんにちは、らくだです。

第9回が始まったアイリス恋愛ファンタジー大賞ですが、前回の結果が気になって調べたところ、いつの間にか公式ホームページで発表されていました。

というわけで。

今さらながらリンクを紹介しておきます。

【第7回アイリス恋愛ファンタジー大賞】

http://www.ichijinsha.co.jp/special/iris/renaif_award/final/

- ・ 1次通過 28本
- ・ 受賞作品 大賞なし、金賞2本、銀賞2本

1次通過作品のタイトルを見ると、「転生」「公爵」「悪役令嬢」「婚約破棄」あたりが、人気のキーワードなのかなーと。

こうして見ると最近の流行がわかって面白いですよね。

それから1作品だけですが「大淫婦」というのも気になりました。

これはつまり、ヒロインが転生して大淫婦な悪役令嬢になって、公爵との婚約を破棄する話を書けば受賞できるで……！（混乱）

それはさておき、近ごろ悪役令嬢モノが増えているのは、結構わかる気が。

その方がいい子のヒロインより感情移入できますもんね。

まあそう感じるのは自分の性格が悪いせいかもしれませんが。

何はともあれこのコンテスト、現在は第9回の募集が始まったところなので、ご興味を持たれた皆様は応募要項をチェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

先週書いたイボ痔の話題、もっと反響（？）があるかと思っていたんですが、特に何もありませんでした。

まあそうだよね……。

他人の痔の話なんて聞きたくないよね……。

とにかく重症化してしまった場合、ただの笑い事では済まされないので、皆さん本当に気を付けてください。

さて本題。

第 31 回ファンタジア大賞（前期）の 1 次発表がありました。

【発表ページ】

<https://www.fantasiataisho.com/contest/31st.php>

- ・ 応募総数 716 本
- ・ 1 次通過 151 本（約 21 %）

今回もっとも気になったのは、『わたしは昔から女の子にモテていて（長いので以下略）』という、122 文字のタイトルでしょうか。

さすがに長すぎい！

ってか発売されても覚えられねーし！

こういう題名を見るとウケ狙いかと疑いますが、内容が面白くなければ 1 次落選でリストにも載れないので、きっちり通過させてくるあたりは凄いですよね。

なお 2 次発表は 11 月らしいので、更新を楽しみに待ちたいです。

ひきこもり小説賞の結果 - 2017.10.19 Thu

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトの投稿企画「秋杜フユのひきこもり小説賞」の結果発表がありました。

気になる応募総数は 30 本だったようで、いつもの企画に比べると少なめですが、内容的には多彩な作品が集まった模様。

というわけで以下リンク。

作品が掲載された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/hikikomori_novel_result/

- ・ 応募総数 30 本
- ・ 最終選考 4 本
- ・ 入選 1 本

今回の企画は冒頭部分の 12 行が指定されており、それに続けて短編を書くというコンテストでした。

とはいえ総評にある通り、同じ冒頭を使っても、作者によって解釈は様々。

掲載されている 4 作品も、すべて個性が違っていて、読んで勉強になりました。

この企画だけに限りませんが、ウェブコバルトは毎回変わったコンテストを開催するので、結果発表も楽しめますよね。

こういうレーベルは他にないですし、この先どんな面白い企画が登場するのか、引き続きチェックしていきたいと思います。

ノベル大賞の試し読み企画- 2017.10.20 Fri

皆様こんにちは。

今回もコバルト関連の話題です。

8月に結果発表があったノベル大賞ですが、本日10月20日（金）より、受賞作品の試し読み企画が始まりました。

詳細はリンク先をご覧ください。

【ノベル大賞 2017 試し読み企画】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/readtrial-comment>

企画の内容をまとめると、

- ・ 受賞作品を期間限定で試し読みできる
- ・ 好きな作品があったら応援コメントを投稿しよう
- ・ 優秀な応援コメントは文庫の帯などに採用される可能性が
- ・ 応募いただいたコメントが、当該作品の宣伝に使用された方には、別途謝礼をお支払いいたします

4つめ重要！

謝礼が貰えるんですって奥さん！

というわけで。

具体的な謝礼の金額まではわかりませんが、受賞作をチェックしつつ何か貰える（かもしれない）という、投稿者にとって魅力的な企画となっています。

あと説明の中にサラッと書いてありますが、今回の受賞作品はコバルト文庫ではなく、オレンジ文庫から刊行されるみたいですね。

以上、ノベル大賞の試し読み企画の紹介でした。

第 6 回 ネット小説大賞 - 2017.10.21 Sat

こんにちは、らくだです。

第 6 回 ネット小説大賞（旧なるうコン）の開催が決定しました。

応募要項は下記参照。

昨日 10 月 20 日より作品受付が始まった模様です。

【第 6 回 ネット小説大賞】

<http://www.cg-con.com/novel/>

- ・ 受付期間 2017 年 10 月 20 日（金）～2018 年 2 月 1 日（木）
- ・ ジャンル 不問（短編や一般文芸作品なども受賞実績あり）
- ・ 規定字数 特になし（過去の受賞作は 8,000 字～300 万字）
- ・ 参加方法 なるうに作品を掲載し「ネット小説大賞六」のタグを設定
- ・ 受賞特典 賞金&書籍化確約、コミカライズ賞はコミカライズも確約
- ・ 重複応募 基本的に禁止だが『モーニングスター大賞』との重複応募は可

なお前回のコンテストでは、応募総数 7,165 作品の中から、28 作品が書籍化されました。

今回もその勢いは一向に衰えることなく、なんと受付開始から 1 日も経たない時点で、応募数が 1,000 作品（!）を超えたとか。

タグ付けだけで参加できるコンテストですし、一概に比較はできないと思いますが、あの電撃大賞さえ上回る勢いは凄いですよね。

というわけで。

ご興味を持たれた皆様は応募要項をチェックしてみてください。

以上、第 6 回 ネット小説大賞の紹介でした。

第6回ネット小説大賞（追加） - 2017.10.22 Sun

こんにちは、らくだです。

前回ネット小説大賞について紹介しましたが、他の賞にはない特色がたくさんあるので、今回はそれらを簡単にまとめてみました。

<感想サービス>

通常の参加タグは『ネット小説大賞六』ですが、『ネット小説大賞六感想』のキーワードをつけると、スタッフが感想を書いてくれるサービスです。

選考とは関係ないようですが、スタッフ直々に感想を貰えたら、モチベーションがUPしますね。

<応援イラストプレゼント>

10月～5月まで毎月1名に応援イラストをプレゼント！

コンテスト参加で人気絵師さんの応援イラストが貰える企画。

今回は毎月抽選するので早めに参加すると当選確率が上がる模様です。

<オススメ作品ピックアップ企画>

コンテスト参加作品が毎週2本ピックアップされます。

応援したい作品がある場合は読者からのピックアップ推薦も可能。

ネット小説の場合は、目立つ場所に載ることが重要なので、紹介されたら読者が一気に増えそうですね。

<締切前に受賞の可能性あり！？>

あくまで本選考がメインではありますが、期間中受賞の制度があるので、締切前に受賞が決定する可能性もあり。

従来の公募ではちょっと考えにくいですが、この制度は、ネット小説のコンテストならでは……です。

ひとまず今回は以上ですが、ここで紹介しきれなかった項目もあるので、詳細については公式サイトをご覧ください。

【第6回ネット小説大賞】

<http://www.cg-con.com/novel/>

こんにちは、らくだです。

まもなく第3回が始まるカクヨム Web 小説コンテスト。
それを記念して歴代受賞者へのインタビュー企画が始まりました。

初回となる今回は渡葉たびびとさん（第2回現代ファンタジー部門大賞）のインタビューが掲載されています。

【歴代受賞者インタビュー（1）】

https://kakuyomu.jp/info/entry/interview_2ndwebcon_action

<質問項目>

- ・カクヨムを使って小説を発表しようと思った理由
- ・作品を執筆する際に心がけていること
- ・作品を読んでもらうために行った工夫や努力
- ・執筆するにあたり影響を受けた作品や参考になった本
- ・大賞を受賞したことで何か変わったことはあったか？
- ・これから挑戦しようと思っている人へ向けてのアドバイス

特に印象的だったのは最後のアドバイス。

作者さんは王道を意識することを勧めているんですが、それに抵抗がある人に対して「ちょっと設定や雰囲気を変えたくらいで、作品から自分らしさが無くなったりはしません」という、実体験に基づいたメッセージを発信しておられます。

これって素敵な言葉ですよ。

確かに作品に滲み出る個性って、そう簡単に消したり変えたりできるものではないですし、それを信じて新しい方向に挑戦してみるのもアリだと思いました。

前回紹介したカクヨムコンの受賞者インタビューですが、第2回が早くもカクヨム公式ブログにアップされました。

今回はロッキン神経痛さん（第2回ホラー部門大賞）のインタビューが載っています。

【歴代受賞者インタビュー (2)】

https://kakuyomu.jp/info/entry/interview_2ndwebcon_horror

こちらの作者さんですが、第1回カクヨムコンで初めてWeb小説を読み、自分も書いてみようと思ったのが投稿のキッカケだとか。

ちょっと待って……？

第1回がキッカケで書き始めて、第2回で大賞を受賞したわけ……？

ぐぬぬ羨ましい！

こっちなんで10年近く書き続けてるのに！

まあそれは自分に実力がなくて（言われる前に言っておく）、それだけ短期間で受賞したのは素直にスゴイことだと思います。

あともう一つ意外だなと感じたのは、これから挑戦する人へのアドバイス。

何しろ一文目が、

「まず日頃からバランスの良い食事と、質の良い睡眠をとって下さい」

確かに健康って大事ですよ（真顔）

インタビューの最後に書いてある通り、賞レースはある意味スポーツとも言えるので、万全の状態チャレンジするのが大切だと改めて実感しました。

こんにちは、らくだです。

カクヨムコン受賞者インタビューの第3回がアップされました。

今回は『雪～シュエ～宮女試験と幽霊公主』で第2回恋愛部門の大賞を受賞した在原小与さんのインタビューが載っています。

【歴代受賞者インタビュー (3)】

https://kakuyomu.jp/info/entry/interview_2ndwebcon_love_story

今回気になったのは「作品を読んでもらうために行っている工夫や努力」の項目でしょうか。

こちらの作者さんは「毎日更新することと、更新する時間帯を考えている」と答えています。

これはネット小説ならではですね。

従来 of 公募だと完成させてから送るので更新ペースは関係ないですし。

ちなみに自分の場合、第1回カクヨムコン参加時は毎日1話更新しましたが、それだとコマ切れになってしまうなあ……という反省がありました。

なのでエッセイコンの時は完成版をまとめてアップ。

おかげで最初はPVを稼げましたが、開催期間後半はアクセスが伸びず。

というわけで、いまだに正解がわからない状態ですが、ネット小説と従来 of 公募では異なる部分がたくさんあることを学びました。

もちろんそれぞれにいい部分があって、ネットと公募どちらが偉いとかいう問題ではないので、今後も状況によって上手く使い分けできれば……と思います。

こんにちは、らくだです。

洗濯機用のカビキラーを買ってきて、久し振りに洗濯槽の洗浄をしたら、ドン引きするくらいカビが出ました。

主婦の皆様、ひとり暮らしの皆様、一見キレイに見えても洗濯機は定期的にカビ取りしましょう……！

さて本題。

9月にカクヨムで開催された「日帰りファンタジー短編コンテスト」の中間結果が発表されました。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/kadokawabooks_contest/nominated

- ・応募総数 687 本
- ・中間通過（最終候補） 157 本
- ・通過率 約 23 %

前からずっと思っていたのですが、カクヨム開催のコンテストって、最終選考の本数が多いんですね。

もちろんそこから受賞するのは難しいですが、最終待ち&電話待ちのドキドキ感を味わいたい場合は、参加してみるのもアリじゃないかと思います。

なお気になる最終発表は 12 月予定だとか。

ここからどの作品が受賞するのか更新を楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

カクヨムコン受賞者インタビューの第4回がアップされました。

今回は第2回異世界ファンタジー部門で大賞を受賞したクオインタムさんのインタビューが載っています。

【歴代受賞者インタビュー (4)】

https://kakuyomu.jp/info/entry/interview_2ndwebcon_fantasy

作者さんの応募のキッカケですが、友人たちが第2回カクヨムコン向けに面白い小説をバンバン投稿していたのに触発されて、コンテストに参加したそうです。

それまで長編小説は書いたことがなかった、と答えているので、つまりは初めての長編で受賞したわけですね。

ぐぬぬ羨ましい！

こっちなんで10年近く書き続けてるのに！

(数日前にもあった展開)

それはさておき今回気になった文章は、

「僕が中学生の頃、美術の先生が『食べても食べても具が出てこないおにぎりは美味しくない』と言っていました。その先生は絵画専門でしたが、小説においても同じ事が言えるのでは、と思います。おにぎりの具＝ワクワクする展開を定期的に入れれば、作品が中弛みせずに引き締まる」

これって上手い比喻ですよ。

具のないおにぎりのような作品を書いて、読者を飽きさせることがないように、自分も改めて気を付けようと思いました。

こんにちは、らくだです。

カクヨムコン受賞者インタビューですが、残念ながら、第5回となる今回は最終回の模様です。

【歴代受賞者インタビュー (5)】

https://kakuyomu.jp/info/entry/interview_1stwebcon_award

今回は、

- ・槻影さん（第1回ファンタジー部門大賞）
- ・柞刈湯葉さん（第1回SF部門大賞）

という豪華2本立てですが、槻影さんはもともと出版経験のある作家さんのようで、「大賞を受賞しても身の回りの変化は特になかった」という回答が。

ぐぎぎぎぎ！

その余裕が羨ましい！

いやでも、投稿歴の浅い人が受賞しても羨ましいし、かといってプロが受賞しても羨ましいし、誰が受賞しても結局は嫉妬しちゃうんですけどね（汗）

なお今回気になったのは、

- ・公募とウェブコンのもっとも大きな違いは読者の有無
- ・ウェブの創作活動ではリアルタイムで感想が入ってくる
- ・あまり気にしすぎないように自分の書きたいものを書こう

これって確かにその通りですよ。

もちろん読者の感想は更新の活力になりますが、逆にテンションが下がる場合もあったりするので、あまり気にしすぎないのが一番なのかなと思いました。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催されていた『この仕事がおもしろい！「働くヒト」小説コンテスト』の結果発表がありました。

以下発表ページへのリンク。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/kadokawa_bunko_contest/result

- ・応募総数 210 本
- ・最終選考 30 本
- ・受賞 2 本（大賞 1 本、優秀賞 1 本）

大賞作品に対する講評に「最後のあとがきによって物語の世界から引き戻されてしまった」と書いてあるんですよ。

で、気になって作品を確認したら、確かに文庫本のようなあとがきが。

これはどうなんでしょう……。

苦言を呈されたってことはアウトなんですかね……。

ちなみに公募だと規定違反になる賞もありますが、あとがき含め好きなように表現できるのがネット小説の良さという見方もできますし、まあこれはこれでアリなのかなという気もします。

（実際に受賞してるわけですし！）

なお今回受賞した 2 作品については、今後角川文庫から刊行されるらしいので、発売を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

富士見 L 文庫×カクヨム「美味しい話&恋の話 短編小説コンテスト」の結果発表がありました。

今回は 28 本も受賞作が出たようです。

選出された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/lbunko_contest/result

- ・応募総数 984 本
- ・最終候補 136 本
- ・受賞 28 本（美味しい話 14 本、恋の話 14 本）

なお受賞した作品は、

- ・『飯テロ 真夜中に読めない 20 人の美味しい物語』
 - ・『恋テロ 真夜中に読みたい 20 人のドキメク物語』
- (2017 年 12 月 15 日刊行予定の富士見 L 文庫アンソロジー)

に掲載される模様です。

書籍の詳しい特集ページはこちら。

【飯テロ&恋テロ アンソロジー】

http://www.fujimishobo.co.jp/sp/meshitero_koitero2017/

恋愛をテーマにした賞はともかく、グルメをテーマにした賞はあまり存在しないので、今後も開催されると嬉しいですね。

以上、「美味しい話&恋の話コンテスト」結果発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催された「KRF カクヨムロボットフェスティバル」の結果発表がありました。

発表ページは以下。

選出された皆様はおめでとうございます。

【カクヨムロボットフェスティバル結果】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2017/10/31/191357>

- ・参加作品数 186 本
- ・大賞 1 本
- ・優秀作品 4 本
- ・その他の魅力的だった作品 6 本

今回の企画はいわゆるコンテストとは違って、あくまでファンが集うフェスティバルなので、賞金や賞品はないと事前に告知されていました。

しかしながら、企画が盛り上がったことへの感謝を込めて、図書カード（大賞 5,000 円分・優秀作品 3,000 円分）の贈呈が決定したとか。

これは嬉しいサプライズですね。

該当者の皆様は改めておめでとうございます。

なおツイッターでは「また（ロボットかどうかわからないけど）こういうイベントをやれるといいなと思っています」というコメントが。

デビューに繋がるコンテストではないですが、こういう企画は同じ趣味の書き手が集まる絶好の機会ですし、今後も定期的開催されて欲しいと思います。